

# 自然教育園見ごろ情報

2026年6月18日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

チダケサシとノカンゾウが  
見ごろです!



## ハンゲショウ

葉の一部が白くなっているのが目立ちます。名前の由来は、半夏生（夏至から11日目）の頃に花が開き、葉が白くなるからという説や、半分化粧したような葉にちなむ説などがあります。ただ、園内のハンゲショウをよく観察すると、全く白くならない「すっぴん（化粧なし）」の葉もあります。



## ネムノキ

筆を広げたような形の花です。ピンク色の糸状のものは、おしべです。名前の由来は、夜間や曇天時に葉が閉じ、眠る姿に例えたことによります。高い所に花が咲いているので、見上げてみてください。



ネムノキの花



## イヌヌマトラノオ

園内にもあるオカトラノオとヌマトラノオの雑種（異なる種類が交雑してできた個体）です。湿地に生息しています。花序や葉の形などで、それぞれの中間的な形質を持っています。葉や花の付け根は緑色です。



## ネジバナ

花のねじれたつき方が名前の由来。ランの仲間で日当たりの良い草地に見られ、その可憐な姿で人々に親しまれています。是非探してみてください。



## チダケサシ

小さくて可愛い花をたくさん咲かせています。乳茸刺（ちだけさし）の名前は、野山でとったチダケ（菌類の一種チチタケの地方名）をこの茎に刺して持ち運んだことによります。



## ノカンゾウ

野原や堤防などのやや湿った場所を好む植物で、橙赤色の花が群生する姿はとてもきれいです。若葉は甘みがあり、食用となります。花は早朝に開いて1日でしぼみます。

武蔵野植物園や水生植物園で見られます



## タカトウダイ

黄色い小さい花には、昆虫が蜜を吸いに訪れます。秋には赤く紅葉します。漢方では根茎に利尿作用があるとされています。



タカトウダイの花



## カワセミ

「翡翠（ひすい）」「水辺の宝石」と呼ばれる、美しい鳥。水の中に潜り、魚やザリガニなどを捕らえます。大きなくちばしは狩りで大活躍するほか、横穴式の巣穴を掘るときには「ツルハシ」の役目をします。

天然記念物及び史跡

見られたらラッキー

科博 自然教育園